

私立大学図書館協会東地区部会

研究部報告書

2019年度

2020年3月

研究部担当理事校

玉川大学教育学術情報図書館

目 次

《2019年度研究部活動報告》	
1. 運営委員会	1
2. 運営委員・研究分科会代表者合同会議	3
3. 研究会	3
4. 研修委員会	3
5. 研修会	5
6. 研究分科会	5
7. 研修分科会	5
8. オンデマンド研修	6
《2019年度研究分科会活動報告》	
1. 和漢古典籍研究分科会	7
2. レファレンス研究分科会	9
《2019年度研修分科会活動報告》	
1. 2019年度研修分科会活動報告	12
2. 2019年度研究分科会報告大会発表要旨	15
《研究分科会刊行物一覧》	20
《2019年度研究分科会月例会について（報告）》	21
《2020/2021年度研究分科会・研修分科会会員の更新結果（報告）》	22
《研究講演会》	25
《研究分科会報告大会》	26
《研修会》	
2019年度研修会の開催について	29
《2019年度研修委員会報告》（研修委員長 和田 貴敏）	33

《オンデマンド研修》	
1. 「雑誌コース」のご案内……………	37
2. 「雑誌コース」実施要項……………	38
3. 「図書コース」のご案内……………	40
4. 「図書コース」実施要項……………	41
《2019年度東地区部会研究部決算報告・監査報告書》……………	43
《2020年度研究部活動計画（案）》……………	44
《2020年度東地区部会研究部予算（案）》……………	45
《関係規程》	
研究部細則……………	46
研究分科会申し合わせ……………	48
研修委員会規則……………	51

《2019 年度研究部活動報告》

1. 運営委員会

運営委員（任期 2019 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日）

委 員	安達 圭子	（法政大学）（2019 年 4 月 1 日～2019 年 5 月 31 日）
	久留宮 健	（法政大学）（2019 年 6 月 1 日～）
	伊藤 民雄	（実践女子大学）
	小海 理恵	（和光大学）
	近内 絵美里	（慶應義塾大学）
	松尾 亜子	（早稲田大学）
	平井 久美子	（東海大学）
	島田 貴司	（立正大学）
	吉田 博貴	（成城大学）

研究部担当理事校 玉川大学

第 1 回 2019 年 4 月 12 日（金） 15：00～17：00 於：玉川大学

1. 2018 年度研究部決算報告について
2. 2019 年度研修分科会会員の更新結果について
3. 2019 年度研究部活動計画（案）及び予算（案）について
4. 2019 年度研修分科会特別助成金申請について
5. 2018 年度研究分科会、研修分科会の活動報告及び会計報告について
6. 2018 年度研究分科会刊行物一覧について
7. 2019 年度第 1 回運営委員・研究分科会代表者合同会議について
8. 2019 年度東地区部会研究講演会について
9. 2019 年度のオンデマンド研修について
10. 2019 年度研究部運営委員会日程及び協会スケジュールについて
11. 運営委員の交代について
12. その他

第 2 回 2019 年 5 月 10 日（金） 14：30～15：30 於：玉川大学

1. 2019 年度第 1 回運営委員・研究分科会代表者合同会議について
2. 2019 年度研究分科会活動計画書及び予算計画書について
3. 特別助成金について
4. 2019 年度私立大学図書館協会スケジュールについて
5. 2019 年度研究講演会について
6. 2019 年度オンデマンド研修の実施について
7. 2019 年度研修分科会について
8. その他 ①運営委員名簿について

第3回 2019年6月14日(金) 13:00~13:30 於:作新学院大学

1. 2019年度研究講演会最終打ち合わせ
2. 2019年度オンデマンド研修の募集について
3. 2019年度研究部研修会の募集について
4. 2019年度私立大学図書館協会スケジュールについて
5. その他 ①運営委員名簿について

第4回 2019年7月12日(金) 15:00~17:00 於:早稲田大学

1. 2019年度オンデマンド研修「雑誌コース」の受講者について
2. 2019年度研究分科会報告大会について
3. 2019年度研究分科会夏期合宿(集中研究会)実施計画について
4. 新規研究分科会受付募集案内について
5. 2020/2021年度研究分科会会員募集について
6. その他

第5回 2019年10月11日(金) 14:40~17:00 於:和光大学

1. 2019年度オンデマンド研修「図書コース」の受講者について
2. 2019年度研究分科会報告大会について
3. 2020年度の研究講演会について
4. その他

第6回 2019年11月8日(金) 15:00~17:00 於:玉川大学

1. 2019年度オンデマンド研修「雑誌コース」について(資料1)
2. 研究分科会夏期研究合宿(集中研究会)実施報告について(資料2)
3. 2019年度研究分科会報告大会について(資料3)
4. 2020-2021年度研究分科会の(中間)募集状況について
5. その他

第7回 2019年12月19日(木) 9:30~10:30 於:早稲田大学

1. 2019年度研究部予算の執行状況について(資料1)
2. 2020年度研究部活動計画(案)について(資料2)
3. 2020年度研究部予算(案)について(資料3)
4. 2020/2021年度研究分科会会員募集について(資料I,4)
5. 2020年度研究講演会について(資料5)
6. 2019年度研究分科会報告大会について(資料6)
7. その他

第8回 2020年3月13日(金) 於:玉川大学 中止

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため

2. 運営委員・研究分科会代表者合同会議

第1回 2019年5月10日(金) 15:30~16:30 於:玉川大学

1. 2019年度研究部活動計画(案)及び予算(案)について(資料1、2)
2. 2019年度研究分科会の活動計画について(資料3、4、5)
3. 2019年度研究分科会報告大会について
4. 研究分科会マニュアル2019年度版について
5. 2020-2021年度研究分科会会員更新スケジュールについて(資料6)
6. 分科会関連業務の分担について(資料7)
7. 2019年度私立大学図書館協会スケジュールについて(資料8)
8. その他

第2回 2019年12月19日(木) 10:30~11:00 於:早稲田大学

1. 2020/2021年度研究分科会会員募集について(資料I)
2. 2019年度研究分科会報告大会について(参考資料)
3. その他

3. 研究会

2019年度研究分科会報告大会

日時 2019年12月19日(木)

会場 早稲田大学小野記念講堂

参加者 29校、42名

報告 1) 研究発表

① 和漢古典籍研究分科会

② レファレンス研究分科会

2) 研修分科会2019年度活動報告

講演 「早慶共同システムについて」

講師 慶應義塾大学メディアセンター本部調査役 入江 伸

4. 研修委員会

研修委員(任期2018年4月1日~2020年3月31日)

委員長 和田 貴敏 (中央大学)

副委員長 岡田 将彦 (慶應義塾大学)

委員 桑垣 孝平 (早稲田大学)

土田 大輔 (明治大学)

吉水 拓哉 (立正大学)

粕川 悠介 (成城大学)事務局(2018年4月1日~2018年6月30日)

吉田 博貴 (成城大学)事務局(2018年7月1日~2019年3月31日)

小泉 誠 (玉川大学)事務局(2019年4月1日~)

オブザーバー 渡邊 幸弘 (早稲田大学)

- 第1回 2019年4月22日(月) 14:30~16:30 於:中央大学
1. 2019年度研修会プログラムについて
 2. その他
- 第2回 2019年5月27日(月) 14:30~16:30 於:明治大学
1. 2019年度研修会プログラムについて
 2. その他
- 第3回 2019年6月17日(月) 14:30~16:30 於:玉川大学
1. 2019年度研修会プログラムについて
 2. その他
- 第4回 2019年7月24日(水) 14:30~16:30 於:立正大学
1. 2019年度研修会プログラムについて
 2. 研修会申込状況の報告(事務局より)
 3. その他
- 第5回 2019年9月25日(水) 14:30~16:30 於:早稲田大学
1. 2019年度研修会準備状況確認
 2. 2020年度の研修会について
 - ・2020年度首都圏開催について
 - ・2021年度地域研修について
 - ・2020年度以降の研究分科会についての意見交換
 3. その他
- 第6回 2019年10月30日(水) 14:30~16:30 於:慶應義塾大学
1. 2019年度研修会準備状況確認
 - *講師との事前打合せ、経費試算等
 - *ナレーションの確認
 - *会場関係諸準備、意見交換会等
 - *参加者へのメール、教材準備、配布資料等
 - *当日の研修委員集合時刻および会場セッティング、受付等
 2. 2020年度以降の研修会について
 3. その他(次回研修委員会の日程等について)
- 第7回 2020年1月20日(月) 14:30~16:30 於:玉川大学
1. 2019年度研修会の振り返り
 2. 2020年度以降の研修会および研修委員について
 3. その他(次回研修委員会の日程等について)

第8回 2020年3月12日(木) 15:00～ 於：中央大学 中止
※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため

5. 研修会

日時 2019年11月28日(木)～29日(金)
会場 慶應義塾大学日吉キャンパス
参加者 56校 65名
テーマ 大学図書館のイメージアップ戦略：利用者を増やすために。
講師 武蔵野大学名誉教授・大学図書館支援機構 理事長 小西 和信
早稲田大学図書館 稲葉 直也
近畿大学中央図書館事務部 事務長 岡 友美子
ブックディレクター 幅 允孝
(株)ラピッツワイド 代表取締役 広瀬 容子
プロクエスト社 小林 隼
接遇コンサルタント 加納 尚樹

6. 研究分科会

次の2研究分科会が月例研究会や夏期集中研究会等の活動を実施した。

(2019年4月1日～2020年3月31日)

① 和漢古典籍研究分科会 ② レファレンス研究分科会

休会：分類研究分科会、西洋古版本研究分科会、パブリック・サービス研究分科会

研究分科会更新担当理事校 実践女子大学

研究分科会月例担当理事校 和光大学

7. 研修分科会

初任者を対象に単年度の研修活動を実施する。

- 第1回 2019年6月6日(木) 於：玉川大学
テーマ：大学図書館で私達ができること
- 第2回 2019年7月4日(木) 於：①岩波ホール ②共立女子大学
① 映画『ニューヨーク公共図書館：エクス・リブリス』鑑賞
② 講演およびディスカッション
テーマ：図書館サービス発展の可能性について考える
- 第3回 2019年8月1日(木) 於：文化学園大学
テーマ：デジタルアーカイブ
- 第4回 2019年10月3日(木) 於：駒澤大学
テーマ：連携・協働・共同 ”One for All, All for One”
- 第5回 2019年11月7日(木) 於：東京女子大学
テーマ：レファレンスのための編集力トレーニング
- 第6回 2019年12月5日(木) 於：立教大学
テーマ：情報リテラシーと伝える技法

8. オンデマンド研修

①「雑誌コース」の開講

募集期間：2019年6月17日（月）～7月5日（金）

実施期間：2019年7月25日（木）～10月23日（水）

受講者数：27名（うち27名修了）

②「図書コース」の開講

募集期間：2019年9月17日（火）～10月4日（金）

実施期間：2019年10月31日（木）～2020年1月29日（水）

受講者数：24名（うち23名修了）

《2019 年度研究分科会活動報告》

1. 和漢古典籍研究分科会

代表者：松尾 蘭（立正大学）

会員数：4名、講師1名（2020年3月現在）

会 員：松尾 蘭（立正大学）

山中 浩子（日本体育大学）

小此木 敏明（立正大学）

高橋 良政講師（元日本大学）ほか1名

年会費：0円

例会開催回数：10回（夏期集中研究会含む）

延べ参加者数：51名

研究分科会ホームページ URL：<https://www.jaspul.org/pre/e-kenkyu/kotenseki/>

活動

（1）基本テーマ

日本や中国・朝鮮半島などで刊行された古典籍資料について、大学図書館職員として必要な書誌学の基礎知識・書誌作成方法の習得を目指す。会員所属図書館蔵の和漢古典籍を使い、情報源に対する的確な理解、装訂に関する知識、紙質や字様・分類についての歴史、刊印修の分別などと共に、書誌事項を如何に適切に表記するかを演習形式で学ぶ。

（2）活動の概要

- ・ 研究報告大会に向け、研究テーマを「書写資料における書誌作成の課題と対応」とし、会員校所蔵の書写資料の調査事例をもとに、参考図書やデータベースを駆使し、写本の書誌作成未経験者でも行なうことができる書誌作成方法を検討した。
- ・ 2019年12月19日(木)に開催された、「2019年度研究分科会報告大会」において、上記テーマで報告を行なった。

資料

（1）月例会テーマ

第1回月例会

日 程：2019年4月12日(金)

会 場：日本体育大学図書館

参加者：5名

- ・ 活動計画、予算計画について
- ・ 年間スケジュールの確認
- ・ 研究報告大会にむけて

第2回月例会

日 程：2019年5月24日(金)

場 所：中央大学図書館

参加者：4名

- ・ 代表者会議報告
- ・ 研究報告大会にむけて
- ・ 調書作成

第3回月例会

日 程：2019年6月7日(金)

場 所：立正大学古書資料館

参加者：5名

- ・ 夏期集中研究会について
- ・ 研究報告大会にむけて
- ・ 調書作成

第4回月例会

日 程：2019年7月19日(木)

場 所：中央大学図書館

参加者：4名

- ・ 夏期集中研究会について
- ・ 研究報告大会で取り上げる資料の選定
- ・ 中央大学所蔵写本に関する調査

夏期集中研究会

日 程：2019年8月27日(火)

場 所：中央大学図書館

参加者：5名

- ・ 各会員による調査結果の発表
- ・ 研究報告大会発表用資料構成検討

日 程：2019年8月28日(水)

場 所：日本体育大学図書館

参加者：4名

- ・ 研究報告大会発表用資料構成検討、作成

第5回月例会

日 程：2019年10月18日(金)

場 所：立正大学図書館 RiLLCom B

参加者：4名

- ・ 研究報告大会発表用資料作成

第6回月例会

日 程：2019年11月22日(金)

場 所：中央大学図書館

参加者：5名

- ・ 研究報告大会発表用資料作成

第7回月例会

日 程：2019年12月6日(金)

場 所：立正大学図書館 RiLLCom H

参加者：5名

- ・ 研究報告大会発表用資料作成、発表練習等

第8回月例会

日 程：2020年1月29日(水)

場 所：立正大学図書館 RiLLCom H

参加者：5名

- ・ 私立大学図書館協会会報原稿作成

第9回月例会

日 程：2020年2月26日(水)

場 所：立正大学図書館 RiLLCom H

参加者：5名

- ・ 私立大学図書館協会会報原稿作成
- ・ 次期分科会について

(2) 刊行物及び事業

なし

2. レファレンス研究分科会

代表者：藤本 英一（創価大学）

会員数：4名

会 員：長谷川 敦史（早稲田大学）

鈴木 茉利奈（東京家政大学）

藤本 英一（創価大学）

鈴木 学（日本女子大学・個人会員）

※正会員3名，個人会員1名

年会費：なし

例会開催回数：11回（内訳：月例会11回，夏期集中研究会1回 ※8月例会を兼ねて開催）

延べ参加者数：42名

研究分科会ホームページURL：<https://www.jaspul.org/pre/e-kenkyu/reference/>

活動

1) 基本テーマ

「利用者から見たレファレンスサービスの位置づけについて——卒業論文執筆直後の学部学生の経験を基に」

大学図書館のレファレンスサービスは、情報通信環境の進展や整備によって、その量と質の両面において大きな変化がおきている。また、図書館における学修支援環境の整備が進む中、図書館の従来からの人的支援であるレファレンスサービスが、情報・調査を必要とする利用者の情報行動の具体的な場面において、どのように認知され、課題の解決に貢献しているか、「学部学生」から見たレファレンスサービスの位置づけを明らかにする。

2) 活動の概要

上記の基本テーマに基づき、前年度の1月～3月に質問紙調査とインタビュー調査を行った。

これを受け、今年度4月に質問紙調査とインタビュー調査の結果確認を行い、調査結果の分析方法について検討した。その上で、5月～7月には、インタビュー調査で得た結果のとりまとめと分析を行った。7月には、インタビュー調査によって得た学生（インタビューイ）の情報探索行動について、その学生が実際に利用した国立国会図書館にて現地調査（再現）を実施した。

8月の夏期集中研究会ではアンケート調査結果の分析を行った。また、夏期集中研究会の1日において、千葉大学アカデミック・リンク・センターにて、担当職員の説明を伺いながら施設見学を行い、同センターの機能、人的支援等について話を伺った。9月～11月には、分析結果の考察とまとめ、発表用資料作成を行い、12月19日の研究分科会報告大会で発表した。1月～2月には、協会会報掲載の「発表要旨」の作成を行った。

資料

1) 月例会テーマ

開催日	テーマ	会場
4/23 (火)	・質問紙・インタビュー調査結果の確認 ・調査結果の分析方法の検討 ・研究スケジュールの検討 ・図書館見学（早稲田大学中央図書館）	早稲田大学中央図書館
5/28 (火)	・半構造化インタビュー結果分析	東京家政大学板橋図書館
6/18 (火)	・半構造化インタビュー結果分析	創価大学中央図書館

7/23 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・半構造化インタビュー結果分析 ・現地調査, 施設見学 (国立国会図書館) 	国立国会図書館
8/6 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・8月例会・夏期集中研究会 ・アンケート調査結果分析 ・図書館見学 (日本女子大学図書館) 	日本女子大学図書館
8/7 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・8月例会・夏期集中研究会 ・アンケート調査結果分析 ・施設見学 (千葉大学アカデミック・リンク・センター) 	千葉大学アカデミック・リンク・センター
9/20 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・分析結果の考察とまとめ 	早稲田大学国際会議場 共同研究室
10/15 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・分析結果の考察とまとめ 	創価大学中央図書館
11/8 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・分析結果の考察とまとめ ・報告大会の発表の準備 	東京家政大学板橋図書館
12/3 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・分析結果の考察とまとめ ・報告大会の発表の準備 	早稲田大学国際会議場 共同研究室
12/19 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度研究分科会報告大会 	早稲田大学小野記念講堂
1/14 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究分科会報告大会の総括 ・協会会報掲載「発表要旨」作成 	アカデミー音羽
2/13 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・協会会報掲載「発表要旨」作成 	早稲田大学中央図書館
※3月の例会は新型コロナウイルスの感染防止のため休会とした		

1) 刊行物及び事業

特になし。

《2019 年度研修分科会活動報告》

代表者：小野口 直喜（研究部担当理事校：玉川大学）

会員数：22 名

会 員：荒井 健（明治大学） 飯田 尚子（慶應義塾大学）
一ノ宮 千紗（実践女子大学・実践女子大学短期大学部）
上田 志帆（東京女子大学） 小川 桃香（専修大学）
賀戸 直美（東海大学） 高坂 みゆき（共立女子大学）
今野 櫻子（法政大学） 齋藤 あゆみ（和光大学）
坂巻 彩華（桐朋学園大学） 佐々木 綾花（立正大学）
嶋村 創（立教大学） 高橋 徹也（北里大学）
高橋 美穂（白梅学園大学・短期大学）
羽田 彩夏（文化学園大学） 深井 里奈子（多摩美術大学）
増田 奈美（女子栄養大学） 増山 陽子（玉川大学）
松本 龍生（駒澤大学） 宮野 明子（城西国際大学）
宮原 優（学習院大学） 湯本 志朗（成城大学）

年会費：5,000 円

例会開催回数：6 回

述べ参加者数：124 名

研修分科会ホームページURL：<https://jaspul.org/pre/e-kenkyu/el-ken-b/index.html>

活動

1) 基本テーマ

専任の大学図書館職員に求められる基礎知識を学び、自ら探求する。
研修テーマは「マネジメント力」と「図書館のパフォーマンス向上」。
アウトソーシング化が進む中で、図書館職員として現状を多角的に分析、評価して業務を遂行する能力が必要とされている。委託外注や電子化、学術情報流通、利用者サービス等について、幅広い視点から大学図書館の現状について理解を深める。

2) 活動の概要

研修はNPO 法人大学図書館支援機構の企画・運営で行い、研究部担当理事校が運営を管理する。各回ともテーマに基づいた事前学習・講演・グループ討議等を実施した。

資料

1) 月例会テーマ

第1回 「大学図書館で私たちができること」

日時・場所：2019年6月6日（木） 玉川大学教育学術情報図書館

講演：「大学図書館の可能性」

講師 中京大学非常勤講師 牛崎 進

グループワーク：「今、大学図書館の課題は？」

見学：玉川大学教育学術情報図書館

第2回 図書館サービス発展の可能性について考える

日時・場所：2019年7月4日（木） 共立女子大学・短期大学神田一ツ橋キャンパス

課題：新書『未来をつくる図書館：ニューヨークからの報告』を読み、各所属館で将来的に実現が可能と思われるサービスのアイデアを3点挙げる

映画鑑賞：岩波ホールにて映画『ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス』を鑑賞

発表：映画鑑賞後、事前課題で検討したアイデアのうち1点を選択し、全体で共有

講演：「New York Public Library から学ぶもの」

講師 学習院女子大学教授・副学長 越塚 美加

見学：共立女子大学・短期大学図書館

第3回 デジタルアーカイブ

日時・場所：2019年8月1日（木） 文化学園大学

課題：所属大学のデジタルアーカイブの取り組み、あるいは世界で使用されているデジタルアーカイブについて調査し、概要をスライド資料にまとめる

講演：「ジャパンサーチの目的と概要」

講師 国立国会図書館 電子情報部 電子情報企画課連携協力係長 高橋 良平

発表：所属大学のデジタルアーカイブへの取り組みについて、3分程度の発表

講演：「大学図書館におけるデジタルアーカイブの利用活用に向けて」

講師 大学図書館支援機構研修委員 森 生也

見学：文化学園大学図書館

第4回 連携・協働・共同“One for All, All for One”

日時・場所：2019年10月3日（木） 駒澤大学駒沢キャンパス

課題：所属大学図書館の連携・共同の事例について調査し、資料を作成

講演：「大学図書館の連携」

講師 元城西大学水田記念図書館所属 若生 政江

講演：「共同分担目録のこれまでとこれから」

講師 大学図書館支援機構副理事長 高野 真理子

演習：大学図書館の連携・共同について各所属館の取り組みをまとめ、全体で共有

見学：駒澤大学図書館

第5回 レファレンスのための編集力トレーニング

日時・場所：2019年11月7日(木) 東京女子大学図書館

課題：研修会メンバーと「共読」したい新書を1冊選び、各章の要約と選書理由をレポートにまとめる

講演：「記憶と連想とアナロジー」

講師 松岡正剛事務所・インス編集学校総匠 太田 香保

演習：レファレンス業務で必要とされる「質問力」を向上させるためのトレーニング

見学：東京女子大学図書館

第6回 情報リテラシーと伝える技法

日時・場所：2019年12月5日(木) 立教大学池袋キャンパス

課題：研修会の総括に向けて、各回のまとめを作成

講演：「情報サービス・文献提供」

講師 大学図書館支援機 伊澤 和夏

演習：事前課題で作成したパワーポイントをグループごとにまとめ、5分程度で発表

見学：立教大学池袋図書館

2019年度研究会（報告大会）

2019年12月19日(木) 早稲田大学 小野記念講堂

報告者：立教大学図書館 嶋村 創

桐朋学園大学附属図書館 坂巻 彩華

北里大学白金図書館 高橋 徹也

2) 刊行物及び事業

共同制作：2019年度活動報告 (PDF)

https://www.jaspul.org/pre/e-kenkyu/el-ken-b/2019_product.pdf

2019年度 研修分科会 活動報告



私立大学図書館協議会東地区部会

立教大学 嶋村 創
北里大学 高橋徹也
桐朋学園大学 坂巻彩華

1

自己紹介

- 嶋村 創 (立教大学図書館)
担当：学部図書委員会運営、学部図書予算管理、選書、広報
- 高橋徹也 (北里大学白金図書館)
担当：雑誌、製本
- 坂巻彩華 (桐朋学園大学附属図書館)
担当：目録業務マネジメント、選書

2

研修会の目標

- ▶ 現場で活躍できる人材
- ▶ 変化・成長し続けられる人材

主体的で能動的な学習者

3

2019年度参加校 (50音順)

- | | | |
|----------|----------|--------|
| ■ 学習院大学 | ■ 成城大学 | ■ 法政大学 |
| ■ 北里大学 | ■ 専修大学 | ■ 明治大学 |
| ■ 共立女子大学 | ■ 玉川大学 | ■ 立教大学 |
| ■ 慶應義塾大学 | ■ 多摩美術大学 | ■ 立正大学 |
| ■ 駒澤大学 | ■ 東海大学 | ■ 和光大学 |
| ■ 実践女子大学 | ■ 東京女子大学 | |
| ■ 城西国際大学 | ■ 桐朋学園大学 | |
| ■ 女子栄養大学 | ■ 文化学園大学 | |
| ■ 白梅大学 | | |
- 全22校**

4

年間スケジュール

- 第1回 大学図書館で私たちができること
- 第2回 図書館サービス発展の可能性
- 第3回 デジタルアーカイブ
- 第4回 連携・協働・共同
- 第5回 レファレンスのための編集カトレーニング
- 第6回 情報リテラシーとまとめる技法
研修会のまとめ

5

第1回 大学図書館で私達ができること

- 図書館見学
- 開講式・オリエンテーション
- ワークショップ
「今、大学図書館の課題は？」
- 講演：大学図書館の可能性



会場：玉川大学教育学術情報図書館

6

第1回 大学図書館で私達ができること

ワークショップ

「今、大学図書館の課題は？」

大学図書館業務が抱える最重要課題を話し合い、
用紙1枚にまとめて発表。

- ▶ 図書館に足りないもの
スペース・お金・職員・広報・専門知識 etc...
- ▶ 解決するためにできることは？
大学他部署へのアピール/他機関、他大学との連携や協力



7

第1回 大学図書館で私達ができること

講演

「大学図書館の可能性」 中京大学非常勤講師 牛崎進氏

- ▶ 課題：大学の厳しい経営環境
- ▶ 解決のために：プロフェSSIONALになる
- ▶ 大学図書館の可能性：ピンチはチャンス
→なんでも挑戦できる
- ▶ 学生を支援したいという**熱いパッション**が必要

8

第1回 大学図書館で私達ができること

- ◆ 他大学や他部署との連携を深めることで、課題解決に向けて前進することができる
- ◆ 所属大学の理念を理解すること
- ◆ 一人ひとりが情熱をもって問題に取り組む

9

玉川大学 教育学術情報図書館



高級ホテルのフロントのようなカウンター



自動書庫



目的に応じた設備

10

第2回 図書館サービス発展の可能性について考える

- ▶ 『ニューヨーク公共図書館』鑑賞
- ▶ 共立女子大学図書館見学
- ▶ 映画の感想 + 課題発表
- ▶ 講演
「New York Public Library から学ぶもの
公共図書館との連携の可能性を視野に」



会場：共立女子大学図書館

11

第2回 図書館サービス発展の可能性について考える

ワークショップ 自身が所属する大学図書館で 実現できそうなサービスを考える

- ① 慶應義塾大学信濃町メディアセンター
学内公認団体の発表ステージ
- ② 女子栄養大学図書館
必要とする学生がいる場所への図書リスト設置
- ③ 白梅学園大学・短大図書館
絵本読み聞かせ実践講座・実習体験談話スペース

12

第2回 図書館サービス発展の可能性について考える

講演「New York Public Library から学ぶもの 公共図書館との連携の可能性を視野に」 学習院女子大学教授・副学長 塚越美加氏

- ▶ New York Public Libraryの考え
- ▶ 学生対象にしたサービス展開が必要
- ▶ 学生や教職員、卒業生や周辺機関などを巻き込む

13

第2回 図書館サービス発展の可能性について考える

- ◆ 図書館の広報力強化
- ◆ 停滞しないサービスと価値を繋げるサービス
- ◆ ニーズに対するアンテナと能動的な連携

14

共立女子大学図書館



① 独自の休憩エリア



③ グループ学修室



② 学内施設利用促進ソリューション「ビーコムズ」

15

第3回 デジタルアーカイブ

- ▶ 講演1「ジャパンサーチの目的と概要」
- ▶ ワークショップ
- ▶ 講演2「ワークショップまとめ」
- ▶ 文化学園大学図書館見学

会場：文化学園大学図書館



16

第3回 デジタルアーカイブ

講演「ジャパンサーチの目的と概要」
国立国会図書館電子情報部 高橋良平氏

- ◆ 「ジャパンサーチ」概要
- ◆ デジタルアーカイブ推進に向けた国の取り組み
- ◆ ジャパンサーチ（試験版）について
- ◆ ジャパンサーチのメタデータ連携

17

第3回 デジタルアーカイブ

ワークショップ「事例報告」

- ① 貴重書のデジタルアーカイブ
- ② 大学発行資料のデジタルアーカイブ
- ③ 世界のデジタルアーカイブ

18

第3回 デジタルアーカイブ

- ◆ 資料デジタル化の傾向と大学間格差
- ◆ 共通の問題意識や改善点
- ◆ メタデータの整備や予算確保
- ◆ 大学独自の資料の意味

19

文化学園大学図書館



雑誌コーナー
(ファッション雑誌が中心)

雑誌 Visionaire (ヴィジョニア)
世界一大きい雑誌として
ギネス記録に認定



19世紀貴重書 La mode illustrée

20

第4回 連携・協働・共同 “One for all, all for one”

- ▶ 講演1「大学図書館の連携」
- ▶ 講演2「共同分担目録のこれまでとこれから」
- ▶ ワークショップ
- ▶ 図書館見学



会場：駒澤大学図書館

21

第4回 連携・協働・共同 “One for all, all for one”

- 講演1「大学図書館の連携」
元城西大学水田記念図書館所屬／若生政江氏
- ▶ 双方に価値がなければ連携は続かない
 - ▶ 母体のミッションの理解と、その実現に向けての努力
- 講演2「共同分担目録のこれまでとこれから」
大学図書館支援機構 副理事長／高野真理子氏
- ▶ 共同分担の意義の再確認
 - ▶ データの品質・信頼性の共同支持

22

第4回 連携・協働・共同 “One for all, all for one”

ワークショップ
「大学図書館が行っている連携・共同の事例」

- ① 学生
学生による展示や広報、ビブリオバトルの実施
- ② 書店・出版社
選書ツアーやDB講習などの実施
- ③ 地域と公共図書館
大学図書館の地域開放、学生による専門図書館の利用

23

第4回 連携・協働・共同 “One for all, all for one”

- ◆ 学生ならではの創造力の活用
- ◆ 従来の枠にとらわれない企画
- ◆ ステークホルダーを見失わない

24

駒澤大学図書館



仏教関連図書

学生選書ツアー選定本



ギャラリー展示

25

第5回 レファレンスのための 編集カトレーニング

- ▶レクチャー
「記憶と連想とアナロジー」
- ▶ワークショップ
- ▶図書館見学

会場：東京女子大学図書館



26

第5回 レファレンスのための 編集カトレーニング

講演「記憶と連想とアナロジー」

松岡正剛事務所 太田香保氏

利用者が求めている「情報」を引き出すための発想の仕組みを学び、
質問・類推するスキルを高めるトレーニング

情報を分節化する

情報を整理（グルーピング）することで、正しくとらえる手法

質問力

相手が知りたいことを引き出すために、多角的な視点から質問をする。

27

第5回 レファレンスのための 編集カトレーニング

発想力を鍛えるワークショップ



目次を読み、新書の内容
と著者が最も伝えたい
ことを類推する



28

第5回 レファレンスのための 編集カトレーニング

- ◆情報を正しく理解するための手段としての編集力
 - ◆人によってイメージは異なる
 - ◆利用者が得たい情報を導き出すための質問力
- レファレンスだけではなく全ての業務に必要な力

29

東京女子大学図書館



学習コンシェルジュ
予定表



学生協働サポート体制



学生アシスタント手企画
「カチャカチャを回して
電子ブックを読もう！」

30

研修会から学んだこと

1. 自身の担当業務に加えて、
図書館・大学全体の業務の流れを理解する。
2. 他大学・機関と連携することで、
社会の変化に対応する。

31

研修会から学んだこと

1. 自身の担当業務に加えて、
図書館・大学全体の業務の流れを理解する。
- ・図書館の業務は細分化されている
 - ・大学図書館は、大学の「建学の精神」・「教育理念」
に根差している
 - ・他部局、学生・教職員との連携を積極的に進める

32

研修会から学んだこと

2. 他大学・機関と連携することで、 社会の変化に対応する。

- ・国内資料の共有と利活用の推進
- ・高騰する海外資料の安定的かつ継続的な収集
- ・受動的な学びから能動的な学びへの移行

33

研修会で学んだことを 日々の業務にどう生かしていくか

能動的かつ積極的に業務に取り組む

広い視野を持ち、好奇心旺盛な学習者であり続ける。

「他者」を尊重し、繋がりを大切にする。

34

ご清聴ありがとうございました



《研究分科会刊行物一覧》

分科 会名	和漢古典籍 研究分科会	レファレンス 研究分科会
書名又 は誌名	なし	なし
刊行 頻度		
価格		
発行 部数		
配布 対象 ・ 頒布 方法 ・ 在庫		
発行 目的 ・ 主な 内容		
コメ ント ・ 今後 の 刊行 予定		

《2019 年度研究分科会月例会について（報告）》

研究部担当理事校 玉川大学教育學術情報図書館 【2019 年度 4 月から担当】

月例会担当理事校 和光大学附属梅根記念図書・情報館 【2019 年度 4 月から担当】

1. 月例会・夏期研究合宿開催状況 (2020 年 3 月 1 日現予定含)

研究分科会名称	月例会 開催数	夏期合宿（集中研究会） 開催期間
和漢古典籍 研究分科会	9	8 月 27 日・28 日 (集中研究会)
レファレンス 研究分科会	11	8 月 6 日・7 日 (集中研究会)

*夏期合宿・集中研究会内訳（【】は前年度）

夏期合宿 0【0】、集中研究会 2【2】、実施せず 0【0】

2. 2019 年度中の動き

本年度の研究分科会は 2 研究分科会が活動し、休会は 3 研究分科会となった。

研究分科会の会員異動は 1 件(会員区分変更 1)であった。各研究分科会の会員数は 4 名、月例会の回数は、それぞれ年間 9～11 回開催された。各研究分科会の会員数、1 年間の月例会回数は、ともに前年度とほぼ同数となった。夏期合宿(又は集中研究会)は、2 研究分科会が実施し、研究成果の集大成となる報告大会に向け研究作業に集中した。

報告大会は 12 月 19 日に開催され、2 研究分科会が 2018-2019 年度の、1 研修分科会が 2019 年度の活動を報告した。報告大会への一般参加は 29 大学 42 名、他に NPO 法人大学図書館支援機構からも参加があった。

各分科会の活動報告に対してアンケート回答には、積極的な評価・意見だけでなく、自館での導入の検討等、前向きな意見が多く見られた。

3. 今後の課題

図書館は大学教育や研究活動の拠点であり、基盤である事は誰もが認める点ではあるが、大学を取り巻く状況は大きく変化しており大学図書館もその影響を強く受けている。

個々人は研究分科会への関心はあり参加の意欲も持っているが、職場内の異動等による人員不足で思うように参加ができない現状も一方ではある。また、地理的要因として東京近郊以外の大学図書館員は、参加へのハードルが高くなっていることも考えられる。それらは報告大会への参加者数にも反映しているだけでなく、研究分科会の参加者減少、あるいは研究分科会自体の存続にも大きな影響を与えている。

今後は研修分科会参加者が引き続き研究分科会でも活動が続けられるような連携や環境作り等の検討が必要となってきている。

《2020/2021 年度研究分科会・研修分科会会員の更新結果（報告）》

研究部担当理事校 玉川大学教育学術情報図書館

分科会更新担当理事校 実践女子大学図書館

1. 更新状況

(2020年3月31日現在)

分科会名	更新前		更新後		増減	備考
	参加人数	機関数	参加人数	機関数		
1 和漢古典籍	4(1)	3	4(0)	3	0	
2 レファレンス	4(2)	4	0	0	▲4	
3 分類	休会		1(1)	1	1	
4 西洋古版本	休会		更新なし			
5 パブリック・サービス	休会		更新なし			

参加申し込み合計：4機関、5名（それぞれ数は延数）

※第一次締め切り後、3月31日までに参加申し込みのあった機関名も含む。

※参加人数欄の（ ）内は継続会員数。

2. 研究分科会更新経過

2019年

7月12日（金）

- ・第4回運営委員会で、「2020/2021年度会員更新スケジュール」、「新規研究分科会受付募集について（ご案内）および記入上の注意」、「新規研究分科会申込書・FAX送信票」、「私立大学図書館協会東地区部会研究部研究分科会申し合わせ」について確認を行った。

9月13日（金）

- ①加盟大学図書館長宛に「新規研究分科会受付募集の案内について（お願い）」をEメールにて送信。提出期限は12月6日（金）
- ②研究分科会代表者宛に、「2020/2021年度研究分科会会員募集要項の原稿提出について（依頼）」および、研修分科会代表者宛「2020年度研修分科会会員募集要項の原稿提出について（依頼）」をEメールにて送信。提出期限は11月29日（金）

11月14日（木）

- ・9月13日（金）に続き再度、加盟大学図書館長宛に「新規研究分科会受付募集の案内について（お願い）」をEメールにて送信。

11月29日（金）

- ・2020/2021年度研究分科会会員募集要項、2020年度研修分科会募集要項の原稿締め切り（3研究分科会、研修分科会より受領）。休会中の西洋古版本、パブリック・サービスの2研究分科会については更新の意思が示されなかった。

12月6日（金）

- ・新規研究分科会応募締め切り（応募なし）。

12月19日（木）

- ・第7回運営委員会で、新規研究分科会の応募がなかったことを報告。また、更新の意思が示されなかった西洋古版本、パブリック・サービスの2研究分科会については廃会とすることを確認。
- ・第2回運営委員・研究分科会代表者合同会議で、新規研究分科会の応募がなかったことを報告。
- ・2019年度研究分科会報告大会にて、「分科会案内チラシ」を配布。

2020年

1月17日（金）

- ・研究分科会の会員更新書類として、下記書類を加盟大学図書館長宛にEメール送信し、次期会員募集を開始。
 - ①「研究分科会会員の更新について（お願い）」
 - ②「2020/2021年度研究分科会参加申込書」（機関用・提出書類）
 - ③「2020/2021年度研究分科会参加申込書」（個人票・提出書類）
 - ④「研究分科会会員募集に関する手引き」
 - ⑤「2020/2021年度研究分科会会員募集要項」（3研究分科会）
 - ※第一次締め切り：2月21日（金）、最終締め切り：4月10日（金）
- ・研修分科会の会員更新書類として、下記書類を加盟大学図書館長宛にEメール送信し、次期会員募集を開始。
 - ①「研修分科会会員の更新について（お願い）」
 - ②「2020年度研修分科会参加申込書」（機関用・提出書類）
 - ③「2020年度研修分科会参加申込書」（個人票・提出書類）
 - ④「2020年度研修分科会会員募集要項」
 - ※第一次締め切り：2月21日（金）、最終締め切り：4月10日（金）

2月21日（金）

- ・一次募集締め切り。研究分科会5名、研修分科会6名の応募あり。

2月28日（金）

- ・各研究分科会および研修分科会代表者に、下記書類をEメール添付にて送付。
 - ①「2020/2021年度研究分科会参加申込書（個人票）」
「2020年度研修分科会参加申込書（個人票）」
 - ②「研究（研修）分科会参加者承認の諾否、およびその通知について」
 - ※諾否回答締め切り：Eメール3月17日（火）、郵送3月20日（金）

3月27日（金）

- ・加盟大学図書館長宛に、研究分科会および研修分科会の二次募集の通知をEメールにて送付。

3. 今後の課題等

今期の研究分科会の更新においては、5 研究分科会（休会中の 3 研究分科会を含む）のうち、休会中の 2 研究分科会で更新の意思が示されなかったため、3 研究分科会で募集を行った。3 月末時点で定員を満たしているのは 1 研究分科会のみで 2 研究分科会については存続することも厳しい状況になっている。

代表者職員数の減少などで参加することが難しいという意見もあり、今後の分科会活動のあり方自体を検討する段階に入っていると考ええる。

《研究講演会》

私立大学図書館協会 2019年度東地区部会研究講演会

日 時： 2019年6月14日（金） 14：40～16：30

会 場： 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 作新清原ホール

出席校： 92大学（出席者：135名）

テーマ： 大学図書館における研究支援について

（受付開始 14：00）

1. 開会の辞 (14：40～14：45)

司会者（研究部運営委員）

立正大学図書館 島田 貴司

2. 挨拶

研究部担当理事校

玉川大学教育学術情報図書館長 丹治 めぐみ

3. 講演

「大学図書館による研究支援」 (14：45～16：15)

慶應義塾大学三田メディアセンター事務長 市古 みどり 氏

（質疑応答） (16：15～16：30)

4. 閉会 (16：30)

※ 講演の要旨は「私立大学図書館協会報」154号に掲載予定

《研究分科会報告大会》

私大図協・東・研・2019-29

2019年10月18日

私立大学図書館協会
東地区部会
加盟大学図書館長 殿

私立大学図書館協会
東地区部会研究部担当理事校
玉川大学教育学術情報図書館
館長 丹治 めぐみ
[公印省略]

2019年度 研究分科会報告大会開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より私立大学図書館協会東地区部会の活動にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、このたび標記研究分科会報告大会を下記のとおり開催することになりました。この研究分科会報告大会は、2研究分科会による2年間（2018～2019年度）の調査研究成果と、研修分科会による1年間（2019年度）の研修成果を発表する場となっております。

また、9月より運用開始となりました「早慶共同システム(仮)」について、慶應義塾大学メディアセンター本部課長 入江 伸氏をお招きいたしまして、お話をうかがう機会を設けさせていただきました。

つきましては、館務ご繁忙のところを誠に恐縮ですが、貴館職員の参加につきましてご高配いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時 2019年12月19日（木） 13：30～17：15（受付開始 13：00）
2. 定 員 150名
3. 会 場 早稲田大学小野記念講堂
所在地 早稲田大学早稲田キャンパス 27号館地下2階
早稲田大学への交通アクセス：
<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>
早稲田大学キャンパス案内図：
<https://waseda.app.box.com/s/pbxii35yfxie8jb35ad9vg55dq0qlcww>

4. 申込方法と締切 参加ご希望の方は、下記の専用サイトからお申し込みください。

(研究分科会報告大会発表者及び機器操作者・分科会代表者は除く)

URL: https://www.jaspul.org/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=report_2019

注意事項

- (1) 申込締切は11月22日(金)です。
- (2) 申し込まれた方には、受付完了メールが自動返信されます。メールが届かない場合は事務局までお問い合わせください。
- (3) 参加できない事情が生じた場合は、速やかに事務局へご連絡ください。
- (4) 定員超過でご辞退をお願いする場合のみ、11月29日(金)までにお申し込みいただいたメールアドレスへご連絡いたします。
- (5) 研修会での議論、アンケートの内容及び記録写真については、主催者側が作成する報告書、広報資料、研究報告、ホームページ等に使用される場合がありますので、ご了承ください。
- (6) ご提供いただいた個人情報は、当報告会の実施に関する連絡等に利用します。取得した個人情報は上記の目的以外で利用することはありません(但し、法令等により提供を求められた場合を除きます)。

5. 発表概要 (発表時間)

【和漢古典籍研究分科会】 (13:35~14:20)

書写資料における書誌作成の課題と対応

(研究発表要旨)

和漢古典籍資料には、テキストが印刷された版本のほかに、手書きで記された「写本」がある。写本は情報量が少ないことも多く、版本に比べて書誌作成が難しい。本調査では、会員校所蔵の写本を用い、書誌作成の課題とその対応について検討した。参考資料やデータベースを駆使し、写本の書誌作成未経験者でも行なえる書誌作成のための調査方法を提案する。

発表者：松尾 蘭 (立正大学) 山中 浩子 (日本体育大学)
小此木 敏明 (立正大学)

【レファレンス研究分科会】 (14:25~15:10)

利用者から見たレファレンスサービスの位置づけについて

—卒業論文執筆直後の学部学生の経験を基に—

(研究発表要旨)

大学図書館のレファレンスサービスは、情報通信環境の進展や整備によって、その量と質の両面において大きな変化がおきている。また、学修支援のニーズが増加する中、従来からの人的支援であるレファレンスサービスは、利用者サービスの中でどのような機能を担っているのか。利用者側から見たサービスの実態について調査した結果とその考察を報告する。

発表者：藤本 英一（創価大学） 長谷川 敦史（早稲田大学）
鈴木 茉利奈（東京家政大学）

【研修分科会】（15:25～16:10）

2019年度研修分科会活動報告

(研究発表要旨)

今年度開催された研修分科会の概要を報告すると共に、参加会員自らが研修で得られた知見を自身の業務にどう活かせたかなどについてもご紹介いたします。広い視点から大学図書館の現状について考察を行います。

- 第1回 大学図書館で私たちができること・大学図書館の可能性
- 第2回 映画「ニューヨーク公共図書館」・図書館サービス発展を考える
- 第3回 デジタルアーカイブ・ジャパンサーチの目的と概要
- 第4回 連携・協働・共同“One for all, all for one”
- 第5回 レファレンスのための編集力トレーニング
- 第6回 情報リテラシーと伝える技法

発表者：嶋村 創（立教大学） 坂巻 彩華（桐朋学園大学）
高橋 徹也（北里大学）

【講演】「早慶共同システム(仮)について」（16:15～17:15）

講師：入江 伸氏（慶應義塾大学メディアセンター本部課長）

6. 問い合わせ・申込先 私立大学図書館協会東地区部会研究部担当理事校
玉川大学教育学術情報図書館（小野口・森）
Tel：042-739-8629 Fax：042-739-8647
E-mail：eastlib@tamagawa.ac.jp

以上

《研 修 会》

私大図協・東・研・2019-14

2019年7月1日

私立大学図書館協会東地区部会
加盟大学図書館長 殿

私立大学図書館協会
東地区部会研究部担当理事校
玉川大学教育学術情報図書館
館 長 丹治 めぐみ
研究部研修委員会
委員長 和田 貴敏
[公印省略]

私立大学図書館協会東地区部会研究部 2019 年度研修会の開催について(お知らせ)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は私立大学図書館協会東地区部会の活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、標記研修を下記のとおり開催することになりましたので、ご案内申し上げます。つきましては、この機会に多くの方にご参加いただきたく、貴館の関係者にご周知くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時 : 2019年11月28日(木) ~ 29日(金) *2日間
2. 会 場 : 慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎1階シンポジウムスペース
(所在地) 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1
(URL) http://www.hc.keio.ac.jp/ja/hiyoshi_campus/guide/
3. 対 象 : 私立大学図書館協会東地区部会加盟大学図書館に勤務する専任職員
4. 定 員 : 70名
※1大学(加盟館)1名を優先しますが、複数名の申込みも可とします。
但し、応募者多数の場合は研修委員会にて調整させていただきます。

5. 費用：受講無料

※意見交換会に参加される方は、参加費一人 1,000 円を当日集金します。

6. 開催主旨：テーマ「大学図書館のイメージアップ戦略：利用者を増やすために。」

大学図書館を取り巻く状況は常に変化し続けています。

近年は、電子資料の隆盛によるサービスの変化、多くの大学において業務委託化が当然のように進み、図書館における専任職員の割合は減少の一途をたどっている状況も多くみられます。若者の読書離れが世間で言われるようになって久しいこの時代、インターネットの発達による影響はもちろん、図書館においては、データベース利用やオンラインレファレンスほか非来館型のサービスの充実も相まって、来館者や貸出数の減少に悩む図書館も多くなっているのではないのでしょうか。

来館者や貸出数を増やすことだけが大学図書館の使命でないことは、大学図書館で働く我々にとって「自明の理」なのかもしれませんが、今回の研修では、こういった時代にあってもあえて「利用者を増やす」という目標を定め、大学図書館のイメージアップ戦略という観点から、今も昔も変わらない図書館員としての基本をおさえつつ、図書館にこれまでなかった新たな発想や最新の施設事例を盛り込み、参加者の皆様と共に「利用者を増やすためにはどうしたらよいか？」を考える機会にしたいと思います。

1 日目の研修終了後には、参加者間の交流に資するため、意見交換会を設定しております。

私立大学図書館協会東地区部会に所属される多くの図書館員の皆様の参加を研修委員会委員一同こころからお待ちしております。

7. 研修プログラム

◆11/28 1 日目

①イントロダクション

会場校挨拶 10:00～

研修委員長挨拶 10:05～

オリエンテーション 10:10～

②講 演 10:15～11:45 これからの大学図書館員に求められるもの
武蔵野大学名誉教授・大学図書館支援機構理事長

小西 和信 氏

<昼休み 75 分>

③事例研究 13:00～14:00 「図書館ならではの」のラーニング・コモンズとは？
—利用者調査に基づいた早稲田大学中央図書館
改修について—

早稲田大学図書館 稲葉 直也 氏

<コーヒーブレイク 20分>

④事例研究 14:20～15:20 近畿大学の新しい図書空間「アカデミックシアター」
近畿大学中央図書館事務部 事務長 岡 友美子 氏

⑤講 演 15:30～17:00 届かない本の届け方 2019
ブックディレクター 幅 允孝 氏

<意見交換会 17:20～19:00> ファカルティラウンジ 於

◆11/29 2日目

①事務連絡 9:50～

②講演・ワークショップ 10:00～12:00 図書館員のスタイリング講座
(株)ラピッツワイド代表取締役 広瀬 容子 氏

<昼休み 70分>

③講 演 13:10～14:25 図書館のイメージ転換
ーブランディング手法の図書館サービスへの活用ー
プロクエスト社 トレーニング&コンサルティング
パートナーチームリーダー 小林 隼 氏

<コーヒーブレイク 20分>

④講 演 14:45～16:45 気付きを上げる実践型接遇研修
接遇コンサルタント 加納 尚樹 氏

⑤16:50 閉会の挨拶およびアンケート記入

⑥17:00 解散

8. 参加申込

参加ご希望の方は、下記の2019年度研修会参加申込用 URL からお申込みください。

なお、この案内は各大学図書館の中央館にのみ送付し、分館等へは送付しておりませんのでご周知くださいますようお願いいたします。

申込用 URL : https://www.jaspul.org/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=work_2019

【注意事項】

(1) 申込締切：7月31日(水)

- (2) 申込後、「受付完了メール」が自動返信されます。メールが届かない場合は、事務局へお問合せください。
- (3) 参加可否は、8月中旬までに申込者全員にご連絡いたします。
- (4) 受講が決定した方には別途、事前アンケートにご協力頂きます。
- (5) 参加できない事情が生じた場合は、速やかに事務局へご連絡ください。
- (6) 研修会での議論、アンケートの内容および記録写真については、主催者側が作成する報告書、広報資料、研究報告、ホームページ等に使用される場合がありますのでご了承ください。
- (7) 研修中の写真撮影、録音および録画はご遠慮ください。
- (8) ご提供頂いた個人情報、当研修会の実施に関する連絡等に利用します。取得した個人情報は、上記の目的以外で利用することはありません（但し、法令等により提供を求められた場合を除きます）。

【申込方法】

①下記画面の各項目を入力後、**確認** ボタンを押してください。

確認 **リセット**

②入力内容に問題がある場合は、エラー画面が表示されます。

画面の指示に従って、再度入力してください。

③入力内容に問題がない場合は、確認画面が表示されます。

入力内容を確認のうえ、**次へ** ボタンを押してください。

④完了画面が表示され、入力したメールアドレスに受付完了メールが配信されます。

☆問合せ先：私立大学図書館協会東地区部会研究部担当理事校 研修委員会事務局

玉川大学教育学術情報図書館（担当：小泉）

〒196-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1

E-mail : eastlib@tamagawa.ac.jp

※8月24日(土)～9月1日(日)は夏季一斉休業期間のため、お問合せ等の対応ができませんので、予めご承知おきください。

※FAX・電話によるお問合せはご遠慮ください。なお、開催通知は、下記のホームページにも掲載いたします。

<https://www.jaspul.org/east/collegium/index.html>

《2019 年度研修委員会報告》

2019 年度研修委員会活動報告

東地区部会研究部研修委員会
委員長 和田 貴敏（中央大学）

1. 研修委員（任期 2018 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日）

委員長 和田 貴敏（中央大学）
副委員長 岡田 将彦（慶應義塾大学）
委員 桑垣 孝平（早稲田大学）
土田 大輔（明治大学）
吉水 拓哉（立正大学）
小泉 誠（玉川大学）事務局（2019 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日）
オブザーバー 渡邊 幸弘（早稲田大学）

2. 委員会活動概況

年間 7 回（4, 5, 6, 7, 9, 10, 11 月）の委員会を開催した。

※当初予定していた 3 月は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

第 1 回（4 月）および第 2 回（5 月）は、既に開催日時・会場が決定していた本年度の研修会（首都圏開催）について、コンセプトや研修内容について検討し、委員会内で概ね方向性を定めていった。また、同時並行的に、委員長を中心に検討の中で挙がっていた講師候補者への研修主旨の説明や必要に応じた交渉を行い、委員会および Email を使い研修会の内容を確定させた。

第 3 回（6 月）および第 4 回（7 月）では、各講師との細部に関わる調整結果について情報を共有するとともに、研修会の告知方法(PR)や申込みに関して意見をすり合わせた。

第 5 回（9 月）は運営に関する細部を調整するとともに、2020 年度以降の研修会についても関連な意見交換が行われた。

研修会実施前の最後となる第 6 回（11 月）は、研修会会場の慶應義塾大学日吉キャンパスにて開催し、当日の運営に関する最終確認を行うとともに、会場の下見を行った。

第 7 回（12 月）以降は、研修会の振り返りならびに 2020 年度研修会テーマの検討を行った。

なお、本来は第 8 回（3 月）委員会において、委員の交代及び引継ぎを行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、委員会の開催を見送った。引継ぎ等は、改めて 2020 年度に入ってから実施する予定である。

3. 2019年度研修会

■実施概要

テーマ：「図書館員のイメージアップ戦略～利用者を増やすために～」

日程：2019年11月28日(木)～29日(金) *2日間

会場：慶應義塾大学日吉キャンパス

横浜市港北区日吉4-1-1

講師：次頁参照

参加者数：65名(56大学)

参加役員：和田委員長、岡田副委員長、土田委員、吉水委員、桑垣委員、

渡邊委員(オブザーバー) 事務局：小泉

■開催趣旨(概要)

大学図書館を取り巻く状況は常に変化し続け、近年は、電子資料の隆盛によるサービスの変化、多くの大学において業務委託化が当然のように進み、図書館における専任職員の割合は減少の一途をたどっている。若者の読書離れやインターネットの発達により、図書館においては、データベース利用やオンラインレファレンスほか非来館型のサービスの充実も相まって、来館者や貸出数の減少に悩む図書館も多くなってきた。来館者や貸出数を増やすことだけが大学図書館の使命でないことは、大学図書館で働く我々にとって「自明の理」なのかもしれない。しかし、今回の研修会は、あえて「利用者を増やす」という目標を定め、大学図書館のイメージアップ戦略という観点から、今も昔も変わらない図書館員としての基本をおさえつつ、図書館にこれまでなかった新たな発想や最新の施設事例を盛り込み、参加者の皆様と共に「利用者を増やすためにはどうしたらよいのか？」を考える機会とすることを意図し企画した。

また、昨今ますます少なくなった他大学図書館員との交流機会を少しでも提供することも本研修会の一つの意義として掲げた。

■準備・進行(タイムスケジュール)及び講演内容

【11月28日(木)】*1日目

8:30 関係者集合 打ち合わせ

9:30 受付開始

10:00 開会

会場校挨拶(慶應義塾大学メディアセンター事務長 長島 敏樹 氏)

研修委員長挨拶(中央大学図書館閲覧課長 和田 貴敏)

事務連絡

10:15 講演「これからの大学図書館員に求められるもの」

武蔵野大学名誉教授・大学図書館支援機構理事長 小西 和信 氏

11:45 昼食・休憩

- 13:00 事例研究「図書館ならではの」のラーニングコモンズとは？
早稲田大学図書館 稲葉 直也 氏
- 14:00 コーヒーブレイク
- 14:20 事例研究「近畿大学の新しい図書空間「アカデミックシアター」」
近畿大学中央図書館事務部事務長 岡 友美子 氏
- 15:30 講演「届かない本の届け方 2019」
ブックディレクター 幅 允孝 氏
- 17:20 意見交換会
- 19:00 解散

【11月29日(金)】＊2日目

- 9:00 関係者集合 打ち合わせ
- 9:50 事務連絡
- 10:00 講演・ワークショップ「図書館員のスタイリング講座」
(株)ラピッツワイド代表取締役 広瀬 容子 氏
- 12:00 昼食・休憩
- 13:10 講演「図書館のイメージ転換」
プロクエスト日本支社 小林 隼 氏
- 14:25 コーヒーブレイク
- 14:45 講演「気付きを上げる実践型接遇研修」
接遇コンサルタント 加納 尚樹 氏
- 16:50 閉会挨拶（研修委員会副委員長・慶應義塾大学日吉メディアセンター 岡田 将彦）
- 18:00 解散

■特記事項

研修会のお知らせは7月1日（月）より全加盟館メーリングリスト宛に行い、同時に申し込みフォームを使用して募集を開始し、7月31日（水）を締め切りとした。締め切り時点で参加申し込みが委員会で最低人数と設定していた30人を超えたため2次募集は行わなかった。

■研修会の振り返り及び成果

アンケート結果からは、「利用者を増やす」というキーワードを念頭に、開催主旨にも書いた通り、図書館員（人）、図書館施設（ハード）、図書館サービス（ソフト）といった様々な切り口を持った講師を招聘したことにより、多くの参加者の好評を得たことが読み取れた。各講師からは、「利用者を増やす」や「大学図書館」というキーワードを念頭に置きながらも、従来の図書館的な発想にはなかった、参加者自身の成長や所属する図書館発展のための新たなヒントを提供していただけたと思う。

本研修委員会主催の近年の研修会実績では、一つのテーマに沿ったワークショップ形式（参加型）が多かったが、今回は、受講型と参加型をバランスよく配分することを心掛けた。また、各講師へ研修会の主旨説明を丁寧に行ったことや各研修委員が綿密に調査し、テーマに沿った講師を推薦（選定）したことが、トータルコーディネイトとして研修会をうまくまとめる結果につながったと言えるだろう。

反省点としては、参加者からの評価はおおむね好評だったといえるが、参加者間の交流を深めるような場面をもう少し提供できればといった課題が残った。ワークショップ形式はそういった面において有効であり、今後も研修スタイルの一つとして、本研修会においても積極的に採用していくべきである。

4. 2020年度研修会

今期の委員会において、研修会テーマの検討を数回重ねた結果、実施に至らなかったテーマとして、「法律」や「新しいサービス（図書館におけるウィキペディアの活用など）」といった切り口のテーマ案が出されていた。2020年度は首都圏開催、2021年度は地方開催を予定しているため、これらのテーマ候補については、次期研修委員会へ引き継いでいくこととした。

5. その他（次年度以降に向けた今後の課題等）

昨年度までの検討で予算や開催周期の見直しを行ったため、次年度は首都圏開催となり、企画から実施までタイトスケジュールとなるはずだったが、2020年3月時点において、新型コロナウイルス感染症の影響により、委員会や研修会自体の開催について未定という状況になった。

今後については、委員会の再開とともに、再スケジュールが必要である。また、研修会場の選定が開催にあたってのハードルの一つであるため、委員の所属大学を会場とする従来方式や外部会場の借用など新たな方式の検討についても次期委員会へ申し送ることとした。

以上

《オンデマンド研修》

私大図協・東・研・2019-12

2019年6月17日

私立大学図書館協会
東地区部会
加盟大学図書館 御中

私立大学図書館協会
東地区部会研究部担当理事校
玉川大学教育学術情報図書館
館長 丹治 めぐみ
[公印省略]

2019年度東地区部会オンデマンド研修「雑誌コース」のご案内（通知）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は私立大学図書館協会東地区部会の活動に対し格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度も東地区部会ではオンデマンド研修「雑誌コース」を実施することになりましたので、ご案内いたします。

つきましては、貴館の関係者にご周知くださいますようお願い申し上げます。

なお、実施要項、受講申込書、受講マニュアルは私立大学図書館協会東地区部会のホームページ (<https://www.jaspul.org/east/collegium/cat4/2019/>) に掲載しておりますので、ご参照ください。

敬具

記

1. 開講時期 2019年7月25日(木)～10月23日(水)の3カ月間
2. 募集定員 25名
3. 受講対象 原則として私立大学図書館協会東地区部会加盟大学の図書館に勤務する専任職員
4. 申込方法 上記URLから受講申込書をダウンロードし、所属機関長（図書館長等）の推薦を添えて、郵送でお申し込みください。
5. 締め切り 2019年7月5日（金）必着
6. 問い合わせ・申込先 〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1
玉川大学教育学術情報図書館（担当：小野口・森・金谷）
E-mail : eastlib@tamagawa.ac.jp
Tel : 042-739-8629 Fax : 042-739-8647

※2019年10月31日から「図書コース」を実施いたします。9月17日に開催のご案内をさせていただきます。

以上

2019年度 私立大学図書館協会東地区部会

オンデマンド研修「雑誌コース」実施要項

1. 研修の目的

近年、大学図書館では人事異動や業務委託の導入により、図書館業務の基本である目録作成に携わる機会が著しく減少しています。しかし、図書館をマネジメントする上で目録に関する知識は必須であることから、目録技術の普及に寄与することと、私立大学図書館に勤務する館員の育成を目的に、オンデマンドによる双方向型研修を実施します。

2. 主催、運営管理

私立大学図書館協会東地区部会

3. 実施、運営

特定非営利活動法人大学図書館支援機構 (IAAL)

4. 受講内容

第1週～第4週： 雑誌業務概説

雑誌の定義と雑誌業務の概要を説明します

第5週～第8週： 総合目録データベースの仕組みと所蔵登録

NACSIS-CAT のデータベースの仕組みと、所蔵登録について説明します

第9週～第12週： 雑誌書誌登録

雑誌の書誌作成・修正の考え方を説明します

※12週（3カ月）で1期のコースとなります。

※受講内容には全体で約8時間程度のビデオ視聴と、確認テストや提出課題、ディスカッションなどが含まれます。

5. 受講方法

IAAL から発行される ID とパスワードにより指定の URL にアクセスして受講します。インターネット接続の環境があれば24時間受講が可能です。「オンデマンド研修受講マニュアル」もご参照ください。

6. 受講期間

2019年7月25日(木)～10月23日(水)の3カ月間

7. 募集定員

1期25名

※双方向型研修のため人数制限があります。定員を超えた場合は研究部にて選考させていただきます。

※定員に余裕がある場合は追加募集を行います。

8. 受講対象者

原則として私立大学図書館協会東地区部会加盟大学の図書館に勤務する専任職員を対象とします。

9. 修了証書

本講習の修了者には修了証書が発行されます。

10. 受講料

無料

11. 申し込み方法

受講希望者は受講申込書をダウンロードのうえ、所属機関長（図書館長等）の推薦を添えて、下記まで郵送にてお申し込みください。

〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1 玉川大学教育学術情報図書館
私立大学図書館協会東地区部会研究部担当理事校
申込期限 2019年7月5日（金）（必着）

12. 受講者の決定

受講者の決定については7月中旬に各所属機関長（図書館長等）と受講者に通知します。

13. 問い合わせ先

私立大学図書館協会東地区部会研究部担当理事校
玉川大学教育学術情報図書館（担当：小野口、森、金谷）
Tel 042-739-8629 Fax 042-739-8647
E-mail eastlib@tamagawa.ac.jp

【注意事項】

1. 申し込み後に参加できない事情が生じた場合は、速やかに研究部担当理事校までご連絡ください。
2. オンデマンド研修内でのディスカッションやアンケートの内容は、東地区部会研究部が作成する報告書、広報資料、ホームページ等に使用される場合がありますのでご了承ください。
3. 発行される ID やパスワードは受講者本人のみが使用するものであり、各自で責任をもって管理してください。
4. ご提供いただいた個人情報は、当研修の実施に関する連絡等に利用します。取得した個人情報は、上記の目的以外で利用することはありません。（但し、法令等により提供を求められた場合を除きます。）

私大図協・東・研・2019-24

2019年9月17日

私立大学図書館協会
東地区部会
加盟大学図書館 御中

私立大学図書館協会
東地区部会研究部担当理事校
玉川大学教育学術情報図書館
館長 丹治 めぐみ

[公印省略]

2019年度東地区部会オンデマンド研修「図書コース」のご案内（通知）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は私立大学図書館協会東地区部会の活動に対し格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度も東地区部会ではオンデマンド研修「図書コース」を実施することになりましたので、ご案内いたします。

つきましては、貴館の関係者にご周知くださいますようお願い申し上げます。

なお、実施要項、受講申込書、受講マニュアルは私立大学図書館協会東地区部会のホームページ (<https://www.jaspul.org/east/collegium/cat4/2019/>) に掲載しておりますので、ご参照ください。

敬具

記

1. 開講期間 2019年10月31日(木)～2020年1月29日(水)の3カ月間
2. 募集定員 25名
3. 受講対象 原則として私立大学図書館協会東地区部会加盟大学の図書館に勤務する専任職員
4. 申込方法 上記URLから受講申込書をダウンロードし、所属機関長（図書館長等）の推薦を添えて、郵送でお申し込みください。
5. 締め切り 2019年10月4日（金）必着
6. 問い合わせ・申込先 〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1
玉川大学教育学術情報図書館（担当：小野口、森、金谷）
E-mail：eastlib@tamagawa.ac.jp
Tel：042-739-8629 Fax：042-739-8647

以上

2019年度 私立大学図書館協会東地区部会

オンデマンド研修「図書コース」実施要項

1. 研修の目的

近年、大学図書館では人事異動や業務委託の導入により、図書館業務の基本である目録作成に携わる機会が著しく減少しています。しかし、図書館をマネジメントする上で目録に関する知識は必須であることから、目録技術の普及に寄与することと、私立大学図書館に勤務する館員の育成を目的に、オンデマンドによる双方向型研修を実施します。

2. 主催、運営管理

私立大学図書館協会東地区部会

3. 実施、運営

特定非営利活動法人大学図書館支援機構（IAAL）

4. 受講内容

第1週～第4週： 目録の基礎 目録の基本的な考え方を学びます

第5週～第8週： 和図書の目録 和図書の目録の録り方を説明します

第9週～第12週： 洋図書の目録 洋図書の目録の録り方を説明します

※12週（3カ月）で1期のコースとなります。

※受講内容には全体で約7時間程度のビデオ視聴と、確認テストや提出課題、ディスカッション等が含まれます。

5. 受講方法

IAAL から発行される ID とパスワードにより指定の URL にアクセスして受講します。インターネット接続の環境があれば24時間受講が可能です。「オンデマンド研修受講マニュアル」もご参照ください。

6. 受講期間

2019年10月31日(木)～2020年1月29日(水)の3カ月間

7. 募集定員

1期25名

※双方向型研修のため人数制限があります。定員を超えた場合は研究部にて選考させていただきます。

※定員に余裕がある場合は追加募集を行います。

8. 受講対象者

原則として私立大学図書館協会東地区部会加盟大学の図書館に勤務する専任職員を対象とします。

9. 修了証書

本講習の修了者には修了証書が発行されます。

10. 受講料

無料

11. 申し込み方法

受講希望者は受講申込書をダウンロードのうえ、所属機関長（図書館長等）の推薦を添えて、下記まで郵送にてお申し込みください。

〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1 玉川大学教育学術情報図書館
私立大学図書館協会東地区部会研究部担当理事校（担当：小野口、森、金谷）
申込期限 2019年10月4日（金）（必着）

12. 受講者の決定

受講者の決定については10月中旬に各所属機関長（図書館長等）と受講者に通知します。

13. 問い合わせ先

私立大学図書館協会東地区部会研究部担当理事校
玉川大学教育学術情報図書館（担当：小野口、森、金谷）
Tel：042-739-8629 Fax：042-739-8647
E-mail：eastlib@tamagawa.ac.jp

【注意事項】

1. 申し込み後に参加できない事情が生じた場合は、速やかに研究部担当理事校までご連絡ください。
2. オンデマンド研修内でのディスカッションやアンケートの内容は、東地区部会研究部が作成する報告書、広報資料、ホームページ等に使用される場合がありますのでご了承ください。
3. 発行される ID やパスワードは受講者本人のみが使用するものであり、各自で責任をもって管理してください。
4. ご提供いただいた個人情報は、当研修の実施に関する連絡等に利用します。取得した個人情報は、上記の目的以外で利用することはありません。（但し、法令等により提供を求められた場合を除きます。）

2019年度 私立大学図書館協会東地区部会 研究部
決算報告
(2019年4月1日～2020年3月31日)

収入の部

(単位:円)

科目	予算額(A)	執行額(B)	差異(A-B)	備考
部会交付金	3,964,500	3,964,500	0	2016年度より支出に応じた交付
研究会参加費収入	0	0	0	2019年度は意見交換会の開催なし
研修会参加費収入	25,000	24,000	1,000	意見交換会参加費: @1,000円×24名
雑収入	500	71,763	△ 71,263	預金利息19円、分科会より返金分71,744円
小計	3,990,000	4,060,263	△ 70,263	
前年度繰越金	0	0	0	
合計	3,990,000	4,060,263	△ 70,263	

支出の部

科目	予算額(A)	執行額(B)	差異(A-B)	備考
研究講演会(幹会総会)開催費	100,000	16,835	83,165	講師謝礼、交通費等
研究会(報告大会)開催費	150,000	14,031	135,969	資料送付代・物代等
研究会(交流会)開催費	0	0	0	隔年開催、次回は2020年度
研修会(首都圏)開催費	800,000	642,399	157,601	研修会・意見交換会開催費他
研修会(地域研修)開催費	0	0	0	次回は2021年度の予定
オンデマンド研修費	491,000	488,963	2,037	システム・ネットワーク費、 研修運営費
運営委員会費	100,000	9,870	90,130	
運営委員会・分科会代表者 合同会議開催費	10,000	2,491	7,509	年2回(5月・12月) 意見交換会の開催なし
分科会助成金	330,000	225,000	105,000	
内訳				
基本助成	180,000	95,000	85,000	休会中を含む5研究分科会と 研修分科会 @30,000円×6分科会
都府助成会員	150,000	130,000	20,000	2019年度会員予定数 @5,000円×30名
特別助成金	1,384,000	637,000	747,000	
内訳				
研究分科会支援会	800,000	53,000	747,000	
研修分科会支援会	584,000	584,000	0	20名分(募集は30名)
研修委員会費	100,000	0	100,000	集会等自薦要請のため今年度執行無
研究部活動費	50,000	0	50,000	研究部活動 (運営委員会・研修委員会含む)
印刷費	300,000	228,376	71,624	
内訳				
研究部報告書	200,000	197,100	2,900	500部
研究部用封筒印刷代他	100,000	31,276	68,724	封筒、チラシ作成他(1年目)
通信費	25,000	17,950	7,050	
運営事務費	50,000	16,563	33,437	振込手数料他
小計	3,890,000	2,289,478	1,600,522	
予備費	100,000	0	100,000	
合計	3,990,000	2,289,478	1,690,522	
次年度繰越金	0	1,760,785	△ 1,760,785	
総計	3,990,000	4,060,263	△ 70,263	

2019年度私立大学図書館協会東地区部会研究部決算報告は以上のとおりです。

2020年3月31日

東地区部会研究部担当理事校 玉川大学教育学術情報図書館



監査報告書

2019年度に係る決算報告書及び付属書類について、その証憑書類及び帳簿を監査しました結果、適正であることを認めます。

2020年4月1日

東地区部会監事校 東海大学付属図書館



2020 年度 私立大学図書館協会東地区部会研究部
活動計画(案)
(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

1. 研究部活動方針

- (1) 研究活動 (2) 研修活動

2. 活動計画

(1) 運営委員会

研究部の活動計画、予算・決算、研究部の運営その他について協議し、活性化に向けた活動を行う。年 8 回程度開催。

(2) 運営委員・研究分科会代表者合同会議

研究分科会の活動計画、運営その他について協議する。

2020 年 5 月、11 月下旬～12 月上旬の年 2 回開催。

(3) 研究講演会及び研究会

- 1) 「研究講演会」の開催。

2020 年 6 月部会総会・館長会終了後に開催。於：武蔵野音楽大学

- 2) 「研究会(交流会)」の開催。

2020 年 11 月下旬～12 月上旬に開催(予定)。会場未定。

(4) 研修委員会

研修会の企画を立案し、実施する。年 8 回程度開催。

(5) 研修会(首都圏)

研修委員会による研修会。

2020 年 11 月下旬に開催。会場未定

(6) 研究分科会

1 研究分科会が、各研究主題に沿って月例研究会や夏期研究合宿等の活動を実施する。

- ① 和漢古典籍研究分科会

休会：レファレンス研究分科会

廃会：分類研究分科会

西洋古版本研究分科会

パブリック・サービス研究分科会

(7) 研修分科会

初任者を対象に単年度の研修活動を実施する。

(8) オンデマンド研修

双方向型のラーニングデザインによるインタラクティブな研修を実施する。

- 1) 「雑誌コース」 2020 年 7 月下旬～10 月下旬に開講。

- 2) 「図書コース」 2020 年 11 月初旬～2021 年 1 月下旬に開講。

(9) 研究部報告書

2019 年度の研究部活動記録を 2020 年 6 月に発行する。

以上

2020年度 私立大学図書館協会東地区部会 研究部
予算(案)
(2020年4月1日～2021年3月31日)

収入の部

(単位:円)

科目	20年度予算(A)	19年度予算(B)	差異(A-B)	備考
部会交付金	3,124,715	3,964,500	△ 839,785	2016年度より支出に応じた交付
研究会(報告大会)参加費収入	0	0	0	2020年度は意見交換会の予定なし
研修会参加費収入	25,000	25,000	0	意見交換会参加費:@1,000円×25名
雑収入	500	500	0	
小計	3,150,215	3,990,000	△ 839,785	
前年度繰越金	1,760,785	0	1,760,785	
合計	4,911,000	3,990,000	921,000	

支出の部

科目	20年度予算(A)	19年度予算(B)	差異(A-B)	備考
研究講演会(部会総会)開催費	130,000	100,000	30,000	講師謝礼、交通費等(2名分)
研究会(報告大会)開催費	0	150,000	△ 150,000	隔年開催、次回は2021年度の予定
研究会(交流会)開催費	120,000	0	120,000	
研修会(首都圏)開催費	800,000	800,000	0	研修会・意見交換会開催費他
研修会(地域研修)開催費	0	0	0	次回は2021年度の予定
オンデマンド研修費	1,492,000	491,000	1,001,000	システム・ネットワーク費、研修運営費、2020年度は更新費用
運営委員会費	100,000	100,000	0	
運営委員会・分科会代表者合同会議開催費	10,000	10,000	0	年2回(5月・11月) 意見交換会の開催なし
分科会助成金	270,000	330,000	△ 60,000	
内訳				
基本助成	120,000	180,000	△ 60,000	3研究分科会と研修分科会 @30,000円×4分科会
割増助成会員	150,000	150,000	0	2020年度会員予定数 @5,000円×30名
特別助成金	1,384,000	1,384,000	0	
内訳				
研究分科会支援金	800,000	800,000	0	
研修分科会支援金	584,000	584,000	0	25名分
研修委員会費	100,000	100,000	0	
研究部活動費	50,000	50,000	0	研究部活動 (運営委員会・研修委員会含む)
印刷費	280,000	300,000	△ 20,000	
内訳				
研究部報告書	200,000	200,000	0	500部
研究部用封筒印刷代他	80,000	100,000	△ 20,000	封筒、チラシ作成他(2年目)
通信費	25,000	25,000	0	
運営事務費	50,000	50,000	0	振込手数料他
小計	4,811,000	3,890,000	921,000	
予備費	100,000	100,000	0	
合計	4,911,000	3,990,000	921,000	
東地区部会への戻入額	0	0	0	
総計	4,911,000	3,990,000	921,000	

《関係規程》

私立大学図書館協会東地区部会研究部細則

(昭和 29 年 4 月 1 日 制定)
(昭和 34 年 5 月 8 日 改訂)
(昭和 34 年 10 月 14 日 改訂)
(昭和 44 年 2 月 18 日 改訂)
(昭和 63 年 6 月 28 日 改訂)
(平成 7 年 8 月 2 日 改訂)
(2000 年 6 月 9 日 改訂)
(2004 年 6 月 18 日 改訂)
(2017 年 6 月 9 日 改訂)

- 第 1 条 この細則は、私立大学図書館協会会則（以下「会則」という。）第 28 条第 1 項第 3 号、第 33 条に基づいて、私立大学図書館協会東地区部会（以下「東地区部会」という。）に研究部を設置し、事務所を東地区部会研究部担当理事校（以下「研究部担当理事校」という。）に置くことを定める。
- 第 2 条 研究部は、会則第 33 条の目的達成のために次の事業を行う。
- ① 研究会の開催
 - ② 研究分科会の育成
 - ③ 報告書の発行
 - ④ 西地区部会研究会との連絡、情報の交換
 - ⑤ その他研究部の目的達成に必要な事項
- 第 3 条 研究会は、研究発表及び研究部の事業についての報告その他を行う。
- 2 会場は、東地区加盟校が輪番で担当する。
- 第 4 条 研究分科会は、当該研究分科会ごとに適宜開催し、その研究の進行状況、成果その他を研究部担当理事及び研究会に報告するものとする。
- 2 各研究分科会は、研究部より助成金を受けることができる。
 - 3 各研究分科会は、研究部より特別助成金を受けることができる。
- 第 5 条 報告書は、第 2 条の各事業の状況及び研究成果を発表するもので、研究部担当理事が編集の責任に当たる。
- 第 6 条 研究部には、次の役員を置く。
- ① 研究部担当理事 1 名

- ② 運営委員 8名
(東地区部会役員校3名 東地区加盟校5名)

第7条 研究部担当理事には、研究部担当理事校の代表者が当たり、研究部を代表し、かつこれを統轄する。

第8条 運営委員は、隔年4月東地区加盟館から研究部担当理事が推薦し、東地区部会役員会の承認を得た上、研究部担当理事をたすけて研究部の運営に当たる。

第9条 研究部には、その運営を円滑ならしめるため、運営委員会を置く。

第10条 運営委員会は、研究部担当理事が招集し、次の事項を行う。ただし、必要に応じて各研究分科会代表者あるいは当該研究会会場校代表者の出席を求めることができる。

- ① 研究部の事業計画
- ② 研究会の運営に関する事項
- ③ 各研究分科会間の連絡、情報の交換
- ④ 研究部報告の編集、発行
- ⑤ その他研究部の運営に関する事項

第11条 研究部の経費は、東地区部会の助成金及びその他を充てる。ただし、必要に応じて実費を徴収することができる。

第12条 研究部の運営について必要な事項は、別に定めることができる。

第13条 本細則の改廃は、東地区部会総会の承認を要する。

附 則

- 1 本細則は昭和29年4月1日よりこれを実施する。
- 2 本改訂細則は昭和34年5月8日よりこれを実施する。
- 3 本改訂細則は昭和35年10月14日よりこれを実施する。
- 4 本改訂細則は昭和44年2月18日よりこれを実施する。
- 5 本改訂細則は昭和63年6月28日よりこれを実施する。
- 6 本改訂細則は平成8年4月1日よりこれを実施する。
- 7 本改訂細則は2001年4月1日よりこれを実施する。
- 8 本改訂細則は2004年6月18日よりこれを実施する。
- 9 本改訂細則は2017年4月1日よりこれを実施する。

私立大学図書館協会東地区部会研究部研究分科会申し合わせ

(昭和 48 年 4 月 1 日 制定)

(昭和 55 年 6 月 18 日 改訂)

(平成 7 年 9 月 25 日 改訂)

(2002 年 4 月 1 日 改訂)

(2003 年 4 月 1 日 改訂)

(2004 年 4 月 1 日 改訂)

(2005 年 4 月 1 日 改訂)

(2015 年 4 月 1 日 改訂)

第 1 条 この申し合わせは、私立大学図書館協会東地区部会研究部に研究分科会を置くことを定める。

第 2 条 本研究分科会は、私立大学図書館協会東地区部会研究部細則の当該条項に則って活動するものとする。

第 3 条 各研究分科会は、以下の要件を備え、かつ、複数の大学に所属する正会員 3 名以上をもって構成されるものとし、研究部運営委員会の議を経て研究部担当理事の承認を得なければならない。ただし、やむを得ぬ事情により会期中に正会員数が 3 名未満となった場合、研究部は活動の継続を認めることがある。

- ① 当該年度の研究テーマ
- ② 当該年度の研究回数
- ③ 当該テーマの研究に必要とされる条件
- ④ 会費徴収額

第 4 条 各研究分科会は代表者 1 名を置くものとする。

第 5 条 各研究分科会の活動期間は 2 年とし、更新することができる。更新にあたっては、研究部運営委員会の議を経て担当理事の承認を得なければならない。

第 6 条 新規に研究分科会を申請するにあたっては、会員更新担当理事に対し、第 3 条の要件を更新年度の前年 12 月までに示さなければならない。

- 第7条 会員更新担当理事は、研究分科会更新前年度の所定の日までに、加盟館代表者に、第3条各号の事項を通知し、加盟館における参加者選定の基準を示さなければならない。
- 第8条 加盟館代表者は、更新前年度の所定の日までに、各研究分科会の参加者を決定し、会員更新担当理事に通知するものとする。
- 2 会員更新担当理事は、この通知に基づき、当該研究分科会代表者に諮ったうえ、各研究分科会の会員として登録する。
- 第9条 各研究分科会の活動期間中に、途中入退会者があった場合、研究分科会代表者は書面をもって、月例担当理事に通知するものとする。
- 第10条 各研究分科会は、研究部より助成金を受けることができる。
- 2 各研究分科会は、研究部より特別助成金を受けることができる。但し、助成にあたっては、研究部運営委員会の議を経て担当理事の承認を得なければならない。
- 第11条 研究分科会代表者は、当該研究分科会を主宰するとともに、毎月25日までに翌月の開催計画を、月例担当理事に連絡するものとする。
- 第12条 研究分科会代表者は、毎年研究部担当理事に、研究分科会の活動状況及び会計報告をしなければならない。
- 第13条 研究分科会代表者は、研究部担当理事の求めに応じて、研究部運営委員会に出席することができる。ただし、議決権を持つことができない。
- 第14条 各研究分科会は、その研究の成果を研究部の開催する研究会において原則として発表しなければならない。
- 第15条 研究分科会代表者は、毎年2回（5月・11月）開催される運営委員会・代表者合同会議に出席しなければならない。但し、代表者が出席できない場合は代理による出席を認める。代理も不可能である時は、特に研究部が認めた場合この限りではない。
- 第16条 本申し合わせの改廃は、研究部運営委員会の議を経て研究部担当理事の承認を得て行うものとする。

付 則

- 1 本申し合わせは、2004年4月1日から施行する。
- 2 本申し合わせは、2005年4月1日から施行する。
- 3 本申し合わせは、2015年4月1日から施行する。

私立大学図書館協会東地区部会研究部研修委員会規則

(昭和 56 年 4 月 1 日制定)

(平成 2 年 4 月 1 日改正)

(平成 8 年 3 月 28 日改正)

(2016 年 12 月 9 日改正)

第 1 条 この規則は、私立大学図書館協会東地区部会研究部（以下「研究部」という。）に設置する研修委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

第 2 条 委員会は、東地区加盟館館員の資質の向上を図るため、次の活動を行う。

- ① 研修会等に関する情報の収集、提供
- ② 研修会等の企画、実施
- ③ 関連する機関、団体との連絡・協力
- ④ その他目的達成のために必要な活動

第 3 条 委員会は、6 名以上 8 名以内の委員をもって構成し、うち 1 名もしくは 2 名は研究部担当理事校（以下「担当理事校」という。）から選出する。

第 4 条 委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、担当理事校から選出された委員の任期は、担当理事校の担当期間とする。

第 5 条 委員に欠員が生じた場合はこれを補充するものとし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第 6 条 委員会に、委員長 1 名及び副委員長 1 名を置く。

- 2 委員長は、委員会を招集し、議事を進行する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

第 7 条 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 3 委員会は、必要に応じ、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

第8条 委員長及び委員は、東地区加盟館から研究部担当理事（以下「担当理事」という。）が推薦し、東地区部会役員会に諮り、これを委嘱する。

2 第6条に定める副委員長は、委員長が指名する委員をもって充てる。

第9条 委員長は、委員会の活動について、担当理事に対し、少なくとも年2回以上報告しなければならない。

第10条 委員会の事務経費については、私立大学図書館協会東地区部会研究部細則第11条を準用する。ただし、研修会等を実施する際の費用は、必要に応じて実費を徴収することができる。

第11条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会申し合わせとして別に定めることができる。

第12条 この規則の改廃については、研究部運営委員会の承認を必要とする。

附 則

1 この規則は平成8年4月1日より施行する。

2 この改正規則は2017年4月1日より施行する。